

発行

岡山県民主医療機関連合会

岡山市北区下伊福西町1-53

岡山県民会館3F

TEL (086) 214-3911

2024年8月号 No.370

URL: http://www.okayama-min-iren.org

第16回 全日本民医連
共同組織活動
交流集会 in 岡山

1日目 9月29日(日) 13:30~20:30

記念ライブ/松元ヒロ氏(元ニューズペーパー)

2日目 9月30日(月) 9:00~12:30

特別分科会/上映会(ハンセン病ドキュメンタリー映画)

全体会場/岡山シンフォニーホール



5年ぶり開催! 盛り上がった新歓ソフトボール大会



優勝賞品(QUOカード)を手に笑顔いっぱいの林病院チーム



チームには人間以外の選手も...?!



じゃんけん大会で優勝した新入職員の竹本さん
(賞品はQUOカード)



休憩中も楽しく交流



晴天のもと、和やかな雰囲気楽しくプレー

次世代につなげたい、平和への思い 平和行進2024

~1日目(7/16)を終えて~

終戦から79年経ち、日本国憲法第9条では戦争放棄、平和主義を掲げていますが、日本政府は防衛費増大など平和より戦争準備を進めているように思えます。

平和行進には昨年、一昨年と参加し今年3年目で県内通しをさせていただきます。きっかけは病棟師長や県医労連の方の勧めがありました。私は憲法平和学習交流集会や沖縄平和ツアーに参加し過去の日本の過ちや戦争の悲惨さ、現在も戦争による影響は残っていることについて学びました。戦争経験者は徐々に減少し語れる方も少なくなってきました。若い世代の平和意識は減少しているような印象もあり私が県内通しをすることによって少しでも若い世代が関心を持ってくださることを期待して行進したいと考えています。

今年の平和行進には病棟師長や新人看護師も参加するので、一緒に平和の訴えをしていきたいと思います。

(岡山医療生協労組 看護師 安福 翔輝)



筆者



7月16日 備前市 日生



7月21日 倉敷市 大原美術館前

5月18日(土)、岡山県環境保健センター内尾広場に、岡山県民医連2024年新歓ソフトボール大会を開催しました。

コロナ禍で5年ぶりの開催となり、4チーム総勢60名が集った大会となりました。4チームの総当たり戦を行い、2勝1敗が3チームとなる大接戦でした。

結果は得点差で、優勝が林病院チーム・準優勝が岡山協立病院チーム・3位がコープリア病院チーム・4位が水島協同病院チームでした。新入職員も10名の参加があり、新入職員じゃんけん大会では竹本千秋さん(岡山協立病院看護師)が優勝し賞品をゲットしました。

天気もよく、久しぶりの大会で法人や事業所・職種を超えての交流ができたことに盛り返ったように感じました。日々の緊迫した医療現場から離れ、和やかな一日を過ごせたのではないのでしょうか。参加者からは「継続して開催してほしい」「秋も開催してほしい」など熱い要望も寄せられました。コロナ禍前は当たり前のようで開催していたことが、途絶えているものも多くあります。今後は、以前のよう交流や企画が戻ってほしいと改めて感じました。

森脇みどり
(岡山県民主医療機関連合会)

点滴

今年8月に、「風が吹くとき」というアニメーション映画がリバイバル上映されるというニュースを見た。この映画は1986年に英国で制作され、1987年に日本でも日本語吹き替え版が公開されている。ストーリーは、イギリスの片田舎で暮らす平凡な夫婦が主人公。ある日ラジオから新たな核戦争が起これば核爆弾が落ちてくる、という知らせを聞き、政府のパンフレットに従って自宅内にシェルターを作る。そのシェルターというのは、自宅の壁にすのこのような板を立てかけ、クッションで囲っただけのもの。そして実際に核爆弾が炸裂し、無事に生き残った二人はそのシェルターで生活を始めるのだが、というもの。▼記憶が曖昧だが、私はこの映画を子どもの頃に観ている。

静かで穏やかな映画だったように思うが、放射能の底知れぬ恐怖の強さや印象に残って、成長してからも何度か夢にみたような気がする。今私は、この映画を5歳の娘と一緒に観に行こうか、悩んでいる。▼日本でも暮らす私達の日常には、戦争のリアリティがない。リアリティがないから、もっともらしく安全保障を語られる政府に、何となく納得させられてしまう。そのことが私達を戦争の当事者により近づけていることに気づかずに。戦争や核兵器の恐ろしさをリアリティを持って感じることができれば、武力や核兵器が私達を守ってくれるとは到底思わないと思う。子どもたちが殺したり殺されたりしないために、戦争の恐ろしさを伝えていくのは親としての務めのような気がする。うちの子、ビビりだから。(N)

能登半島地震被災者支援へ

MSWとしてできることを



体育館の災害対策用プライベートルームに今も多くの方が暮らしている

スがなくて生活できない「など解決できない問題ばかりで、未だに数十名の方がこの避難所に身を寄せています。今後、能登半島地震で被災された方に思いを寄せていきます。

3月14日から3月20日まで、日本医療ソーシャルワーカー協会が募集している能登半島地震の被災者支援活動にボランティア参加してきました。金沢市内にある15次避難所での相談支援活動を行いました。他の避難所では対応が難しい要介護状態の高齢の被災者の方も多くおられました。今後の生活については、「家が全半壊していて帰れない」「身寄りがなくて受け入れ施設がない」「経済的に施設に入れない」「家族も被災して別の避難所にいる」「家に帰っても介護サービ



現地で出会ったMSWのみなさんと(筆者 左から3番目)

森田千賀子 (水島協同病院 医療福祉相談室)

全日本民医連

能登半島地震被災地の地域訪問活動

全日本民医連の「能登半島地震被災地の地域訪問行動」(4/22~4/24)に参加してきました。金沢市の城北病院前に集まり全国からの支援者11名と金沢の友の会の方10名(日



激しくひび割れて高低差ができた道路

宅が多くあり、現在は2割程度しか住民が残っていない状況です。発災から100日以上経っても、全く手付かずの所が多く、政府や行政の対策の遅さを感じました。報道は殆ど無くなっていきますが、復興どころか

帰りで、奥能登にある輪島診療所に行きました。友の会の会員や患者宅を訪問して、現在の様子や要望の聞き取りと、物資の配布や片付けのお手伝いを行いました。帰宅困難と思われる住宅が多くあり、現



全国から集結(筆者 下段右から2番目)

復旧もできておらず、支援はまだ必要です。人権のアンテナを高く掲げ、日本の発行するニュースに目を向けましょう。 風早 和広 (岡山県民医連機関連会 事務局長)



多かったペットの捜索



大きく傾き、崩壊した建物



被害の大きい木造住宅



用を足したらビニールをボイで衛生的最近まで使用されていた簡易トイレ

岡山県民医連

JB新人歓迎企画「ビアガーデン」

新型コロナウイルスの5類化以降、様々な企画のリアル開催が行われるようになり、県連ジャンボリー(以下JB)の新人歓迎もビアガーデンでの飲み会を企画しました。

参加した新人たちからは「良かった」「面白かった」との感想がありました。しかし、残念ながら、参加人数は県連JB役員含め6名。かなり少ない人数での開催となりました。

コロナにより各事業所でのJB活動が制限された結果、JBの担い手である今の若手職員がJB活動について知らないという状況があります。

JB活動をリアル開催できるようにしたことは喜ばしいですが、改めてJB活動をもっと知ってもらえるよう広めていく活動が必要だと思いました。 藤原 章伍 (県連JB実行委員長)



6月15日、岡山タカシマヤにて開催

※ジャンボリーとは… 民医連で働く青年職員の集まり(遊んだり、学んだりしながら仲間と共に成長し合える場を目指す)

6月号 読者カードより

「点滴」は、予算編成時に苦む立場として共感できる内容で、著書や哲学者の引用には文化性の高さを感じた。倉敷医師団会議は、これからの病院・法人の方向性の一助になったと思う。地協社保平和交流会は、現地山口県連が若い職員とともに準備を重ね、事前学習として現地を訪れ準備されていたことが素晴らしい。 H・A(玉島協同病院)

「点滴」は、身につまされる内容でした。ニーチェの言葉を銘記して頑張りたいです。医師団会議は充実ぶりが伝わってきて、素晴らしい企画だと思いました。 T・K(岡山ひだまりの里病院)

毎年、新人職員からのメッセージを読むのが楽しみ。初心を思い出し、しっかりしなげや! M・S(岡山中央病院)

今年も素敵な新人さんたちが入社されましたね。働きやすい環境づくりと、民医連イズムの継承をお願いしたいです。 こいも(玉島協同病院)